

東北地方太平洋沖地震被災地に対する車載型CT装置派遣について

「東北地方太平洋沖地震」におきまして、被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます。現在懸命の救助活動が行われているとうかがいますが、お一人でも多くの命が救われることを心よりお祈りすると同時に、医学・医療の一端を担う日本CT検診学会においてもできる限りの支援を提供申し上げたいと存じます。

日本CT検診学会には車載型CTを所有する医療機関に勤務する会員がおります。車載型CTは、本来、地域での肺がん検診などに利用するものでありますが、CT装置を大型車両に搭載し自家発電装置を備えたものであり、電力供給のない被災地にも派遣することが可能であり、全身のCT検査を行うことができます。1995年に発生した阪神・淡路大震災では、この車載型CT装置が被災地における医療活動に大変重要な役割を果たしました。

現在、会員所属医療機関、および当学会が把握しているその他の施設が保有する車載型CT装置の目録を作成しつつあります。その中には既に自ら派遣を申し出ている施設もあります。

以上の情報は3月14日に都道府県災害対策本部のネットワーク、およびDMAT（Disaster Medical Assistance Team）にお伝えし、同15日中にも集中治療学会の会員メーリングリストにも情報提供する予定であります。被災地および周辺の医療機関におかれましてこの支援を必要とされる場合は、DMATまたはご所属の自治体を通じて本学会までご連絡下さい。

受け入れ可能状況は、刻々と変化する可能性が高く、お問い合わせいただいた時点でご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

2011年3月15日

日本CT検診学会理事会

本件に関する連絡先

中山富雄 nakayama-to@mc.pref.osaka.jp

大阪府立成人病センター 06-6972-1181（代表）

滝口裕一 takiguchi@faculty.chiba-u.jp

千葉大学医学部附属病院臨床腫瘍部 043-222-7171（代表）